

催し 8月11日(木)午後 13:00~14:30 展示会場内

テーマ：戦時下の品川

DVD：語り継ぐ現代史「戦後70年特別企画—いま聞いておきたい あの日の記憶 昭和20年5月24日城南大空襲」制作品川区
(しながわ平和のための戦争展や、「城南空襲を語り継ぐ会」で展示してきた小島義一さんの絵とインタビューを含むDVDです。)

証言：森 昭男さん(当時、杜松小裏に住み、戸越公園へ母と逃げる) 他

紙芝居：戦争中の国策紙芝居 中野登美子さん

*当時の子どもたちの遊び道具・城南空襲の絵が会場に展示されています。

催し 8月12日(金)午後 13:00~14:30 展示会場内

テーマ：親子で平和を考えよう

DVD：幼児から小学生向けの平和の物語を放映します。

「おこりじぞう」など

特別講演 8月12日(金)夜 18:30~20:30 きゅりあん4階第一特別講習室

テーマ 日本国憲法を考える

(JR大井町東口下車3分)

演題：「日本国憲法の危機と改憲阻止の課題」

講演：金子勝さん(立正大学法学部名誉教授)

資料代：300円

共催：平和のための連絡会

催し 8月13日(土)午後 13:00~14:30 展示会場内

テーマ：体験を語る

・コカリナ&ギター演奏 品川コカリナアンサンブル・ギター嶋田昭治さん

「森の朝」「浜辺の歌」「青い空は」「見上げてごらん空の星を」「ふるさと」

・武蔵小山満蒙開拓団証言 飯白栄助さん

・福島原発被災者の叫び 伊藤千恵さん

催し 8月14日(日)午後 13:00~14:30 展示会場内

テーマ：沖縄を考える

・沖縄で見てきたこと(DVDと報告)東京高校生平和ゼミナール

・朗読 6.23 慰霊の詩「平和(ふいーわ)ぬ世界(しけー) どう大切(てーしち)」

歌 「月桃の花」 伊藤響子さん

・沖縄三線(さんしん)と唄 照屋三線ファミリー

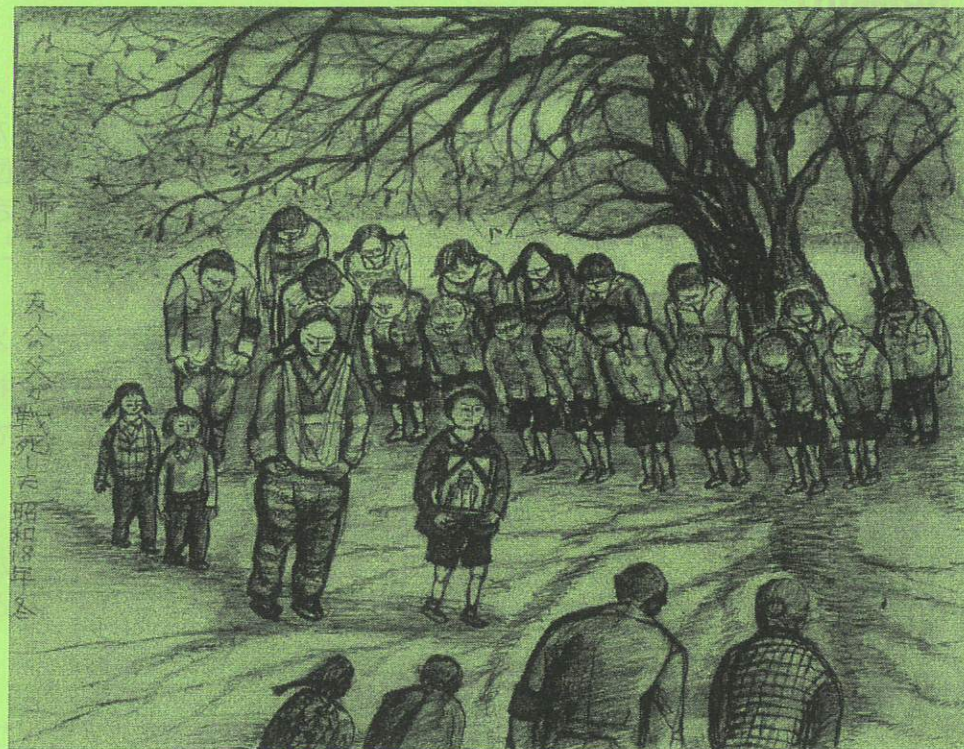
募金のお願い

「しながわ平和のための戦争展」は個人参加の実行委員会が賛同する皆様からの事前のまたは会場での募金をもとに毎年開催しております。会場募金は、運営の大きな支えです。募金をよろしくお願いします。

しながわ 2016年 第33回

平和のための戦争展

戦争をする国にさせないために



「父 帰る」(小島義一：画)二度とこのような家族を作らない

とき 8月11日(木)~14日(日)

10時~19時(14日は16時まで)

ところ 品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)

JR京浜東北線・東急大井町線 大井町下車 徒歩3分

主催 しながわ平和のための戦争展実行委員会

◎ 連絡先 03-5742-7563(西條明子) 03-3727-8382(扇谷道子)

第33回平和のための戦争展開催にあたって

1984年（昭和59年）手さぐりで始めた「しながわ平和のための戦争展」は、今年で33回目を迎えました。残念ながら「再び戦争は繰り返すまい」という国民の思いと裏腹に「戦争をする国」にするために憲法を変えようとする動きは強まっています。

「戦争展」が、身近な地域の戦争の悲惨さを語り伝え、「戦争をする国」にさせないために親子孫三代で「平和」を考える場になればと願っています。

2016.8. しながわ平和のための戦争展実行委員会

○戦時下の品川で

武蔵小山商店街から満州へ

武蔵小山商店街の戦争中の苦難を記す慰霊碑が武蔵小山駅近くの朗 惺 寺（ろうせいじ）という寺に残されているのをご存知でしょうか。1943年秋、商売ができなくなった武蔵小山商店街の人々が、農業経験もないまま満州（今の中国東北部）へ集団移民をしました。「満州には夢がある」と信じて海を渡ったのです。逃避行は悲惨をきわめ、800余人が戦闘や自決で亡くなり、帰って来られたのは、たった数十人でした。

学童疎開は安全ではなかったーランドセル地蔵の語るもの

学童疎開を知っていますか？戦局の悪化に伴って「防空の足手まといを無くし次期戦力の温存」を目的に1944年学童疎開が始まりました。しかし、そこにも空襲や機銃掃射があり、亡くなった子どももいました。原国民学校の神尾明治くんはその一人です。

小島さんの絵で見る品川の空襲

1945年5月24日城南地域に落とされた爆弾・焼夷弾は3月10日の東京下町空襲の3倍にも上るものでした。特に戦前の荏原区は、空襲でほとんどまる焼けになりました。当時少年だった小島義一さんは、二度とこのようなことが起きないようにと、体験を絵に描き伝えてくれています。

品川の戦争遺跡＝品川に残る戦争の足跡＝

品川区には戦争の足跡がまだまだたくさん残っています。親子で歩いてみませんか。

○考えよう！日本国憲法

改憲勢力が2/3を超えたとたんに、憲法を議論する土壤ができたようなことを言い出しています。憲法はアメリカに押し付けられたものだから『自主憲法』をつくらなくては？と一部の方々はいますが、いまこそ私たちは、「日本国憲法」を、そして自民党の憲法改正案（2013年作成）をしっかりと読む必要があります。日本をどのような国にしようとしているかー現行憲法との比較図から考えてみたいと思います。

また、「テロ」「大災害」等が起きた時対応すべき「緊急事態条項」が日本国憲法にはないと、とにかく国民を納得させやすいもので「おためし改憲」というような動きがあります。本当に必要なの？を考えてみたいと思います。

○すでに動いている安保健法

ー暮らしにも経済にも学問にも戦争の不安がー

特定秘密保護法成立（2013年）武器輸出三原則の廃止、集団的自衛権の行使容認（2014年）、安保関連法の制定（2015年）など海外で戦争することが可能な国へと日本の平和の歩みが変わられています。防衛費の増大と武器の購入、武器輸出関連産業の動向、学問の軍事研究への協力は？自衛隊を志願する若者たちの将来は？資料をもとに考えます。

○パスポートが亡くなって44年ー今の沖縄

多くの住民を巻き込んで戦われた沖縄戦。そしてアメリカによる占領。講和条約締結後も本土と切り離された沖縄。戦いの末勝ち取った本土復帰。その後も残る米軍基地。本土の0.6%に過ぎない土地に米軍基地の74%が集中しています。米軍基地がある故に起こる事故や凶悪犯罪。そしていま政府は辺野古で高江で基地建設を強行しています。しかし、沖縄県民の基地反対のたたかいは、「オール沖縄」として大きく広がっています。

○福島原発事故から5年 甲状腺がん多発と原発再稼働

福島県の子どもの小児甲状腺がんが、過剰多発しています。原因や数をどう見るかはいろいろな見解がありますが、18歳以下の小児と妊婦の健康を守る対策が必要ではないでしょうか。生態系への影響もいわれながら、原発再稼働へ進もうとしている今を考えていきます。

○「戦争する国にさせないために」 私たちができること

「戦争する国にさせないために」様々な活動が広がっています。地域での活動を紹介します。

○書で平和の心を 「一本の鉛筆」(松山善三作詞)

この詞は、1965年（昭和49年）8月9日の第一回広島平和音楽祭に美空ひばりが出演するにあたって、脚本家の松山善三氏が手掛けました。（作曲は、映画音楽の作曲で有名な佐藤勝）ひばりは亡くなる前年の15回広島平和音楽祭でも歌い、その後も多くの歌手が歌い、詞の良さが改めて見直されています。今回は15人で心を込めて書きました。

○実物が語る戦争

戦争中使われた品物を展示しています。今回は、子どもたちの暮らしや遊びにかかわるものを中心に展示しました。実物から戦争のことを語り継ぐきっかけにしたいと思っています。わからないことは、スタッフに聞いてください。